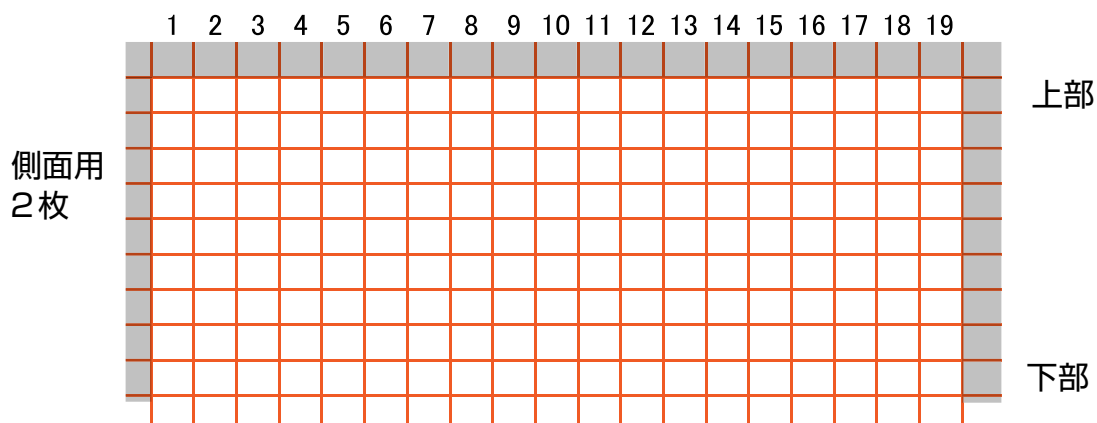


使用資材

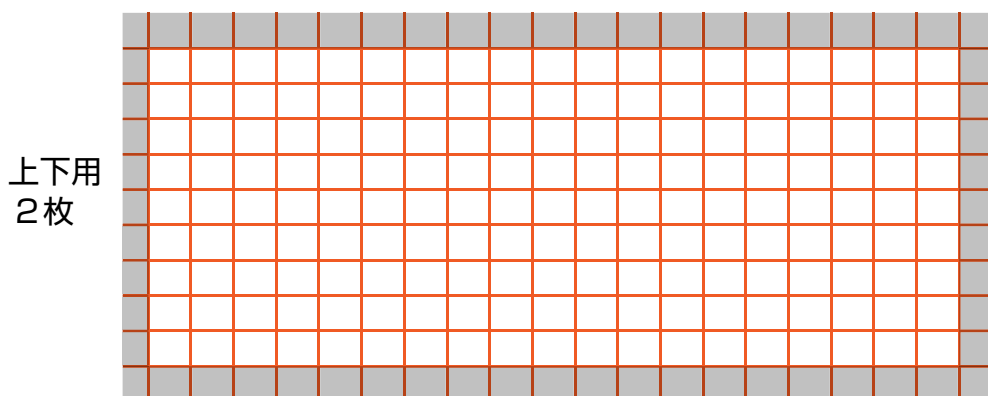
	名 称	規 格	個 数
本 体	ワイヤーメッシュ	φ 60mm、目合い 10 × 10cm	5 枚
	ワイヤークリップ	8 号 (または 10 号)	32 個
ゲート ・ トビラ	L アングル	1800mm	4 本
	L アングル	900mm	5 本
	クロスバー		4 本
	三角プレート		6 枚
	滑車		1 個
	ボルト・ナット	φ 6mm、30mm	37 個
	コンパネ	1800 × 90 × 12mm	1 枚
	フラットバー	600mm	3 枚
仕掛け	ゲートラッチ		1 個
	フラットバー	600mm	1 枚
	滑車		2 個
	ボルト・ナット		6 個
	キーリング		1 個
	針金	なるべく細い物	適量
	釣り糸	3 号	適量
	サルカン		1 個
アンカー	異型鉄筋	φ 10mm、400mm	1 本

1 材料の切断

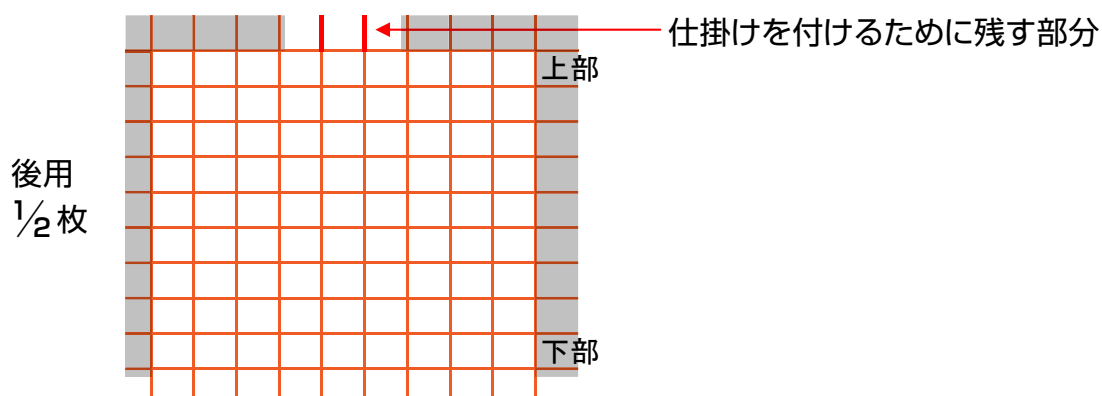
① ワイヤーマッシュの切断



- 側面用2枚は3方向(着色部分)のはみ出した部分を切断します。
下にくる部分は地面への食い込みを良くするために残しておきます。



- 上下用2枚は4方向のはみ出した部分をすべて切断します。



- 後用は、1枚の半分使います。
上面並びに側面と合わせる部分のはみ出しは、切断します。
下面のはみ出しは残します。
- 上部の真ん中2本(赤い部分)は仕掛けを取り付けるため残しておきます。

② フラットバーの切断

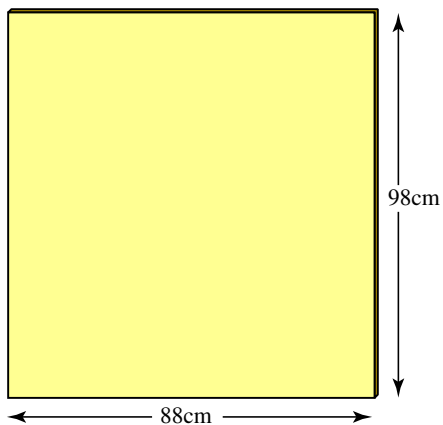


●600mmのフラットバーには楕円の穴が5cm間隔で12カ所空いています。
穴の個数を基準に切断していきます。

- 1) トビラ用
穴3個分(15cm)を11枚
- 2) 仕掛け用
穴3個分(15cm)を2枚
- 穴4個分(20cm)を2枚

③ コンパネの切断

●トビラ用にコンパネ(180cm×90cm)を縦98cm×横88cmの規格で切断します。



●トビラの取っ手用として15×3cm(程度)を2枚切断します。

- 1) 取っ手用
 15×3cm

④ 異型鉄筋の切断

異型鉄筋(ϕ 10mm、400mm)からアンカー資材と仕掛け①用資材を切断します。

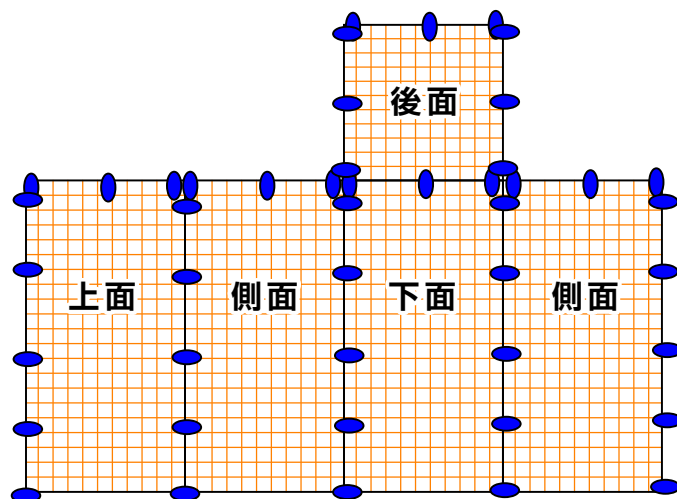
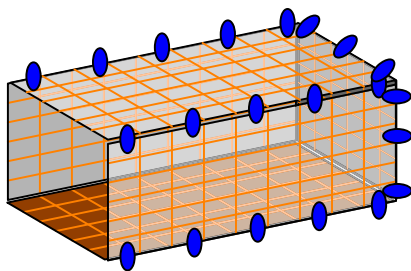
- 1) アンカー資材
70cmの長さで4本切断してください。

2 本体組み立て

使用資材

	規格	個数
ワイヤーメッシュ 	1800mm × 90mm	4枚
ワイヤーメッシュ 	90mm × 90mm	1枚
ワイヤークリップ 	8号(または10号)	32個

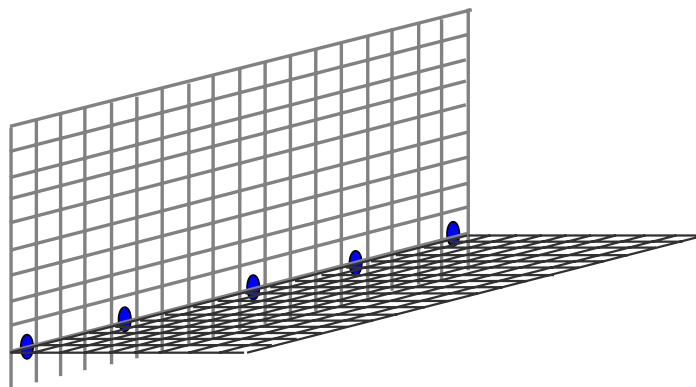
【本体の立体図】



【組み立て】

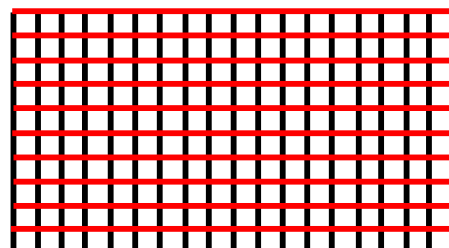
① 側面・下面・上面の取り付け

『1 材料の切断』で加工したワイヤーメッシュを、ワイヤークリップで端から等間隔に5箇所留めます(下図)。外れない程度のボルト締めをします。



このとき、側面のワイヤーメッシュは鋼線がでている方を下に、横線(赤)が外側を向くようにして組み立てます*。

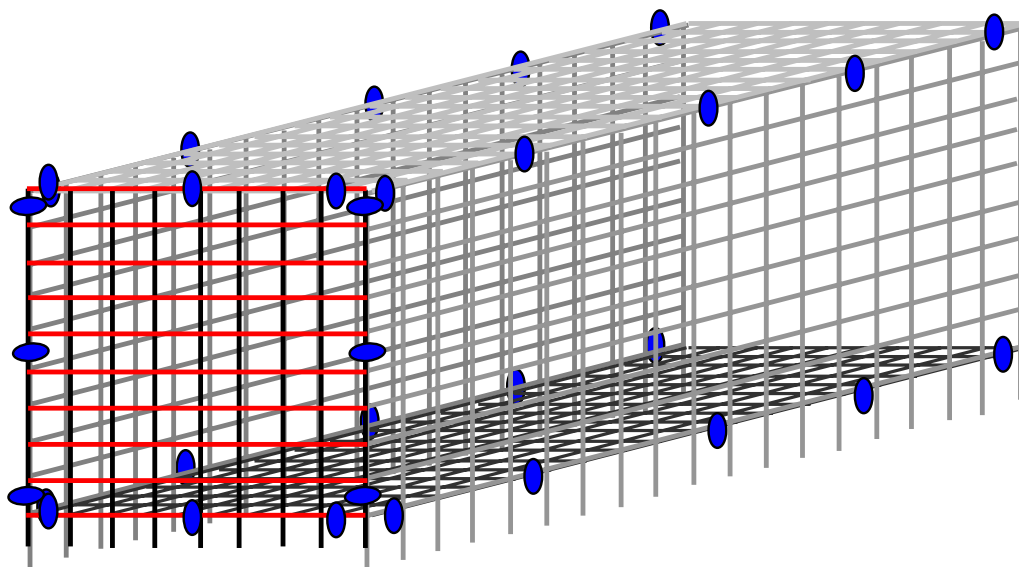
*については、次ページ参照



② 後面の取り付け

側面・下面・上面の取り付けが済んだら、後面のワイヤーマッシュを取り付けます。

側面と同様に鋼線がでている方を下に、横線（赤）が外側を向くようにして取り付けます※。








ワイヤークリップは上下左右3箇所ずつ等間隔に取り付けます。

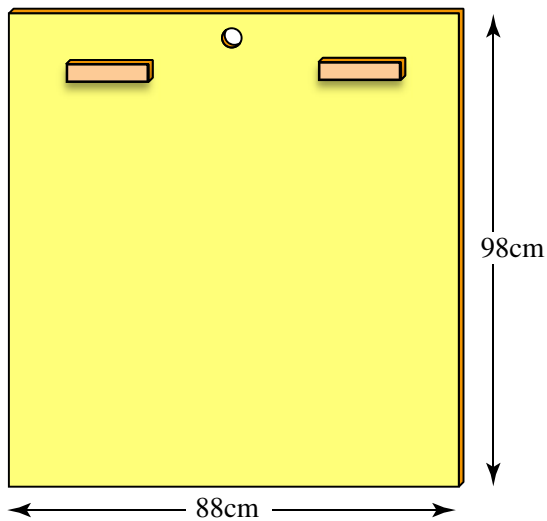
※ 側面と後面のワイヤーマッシュを組み立てる際、横線が外側を向くように設置するのはイノシシが横線に噛みついて引っ張った時に溶接が外れてしまうのを防止するためです。
この箱わなの実用化試験をした際に、側面のワイヤーマッシュの横線を内側にした箱わなで捕獲したイノシシが側面を破って逃げるケースがありました。

3 ゲート・トビラの組み立て

使用資材

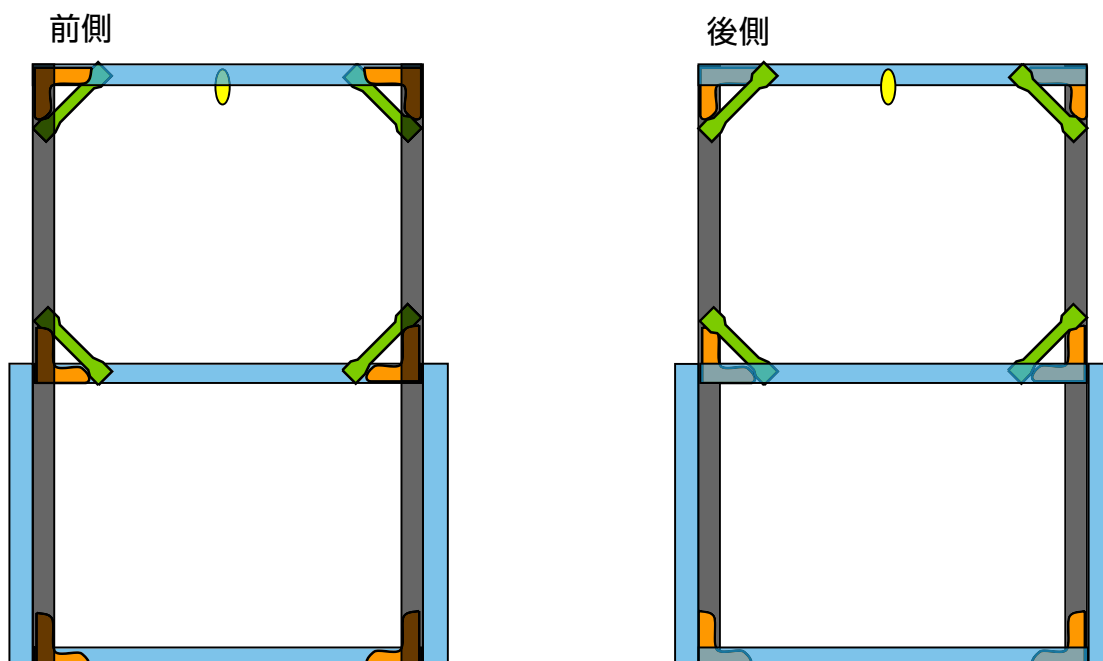
		規 格	個 数
Lアングル		1800mm	4 本
Lアングル		90mm	5 本
クロスバー			4 本
三角プレート			6 枚
滑車		φ6mm 30mm	1 本
ボルト・ナット	→		37 個

【トビラの組み立て】



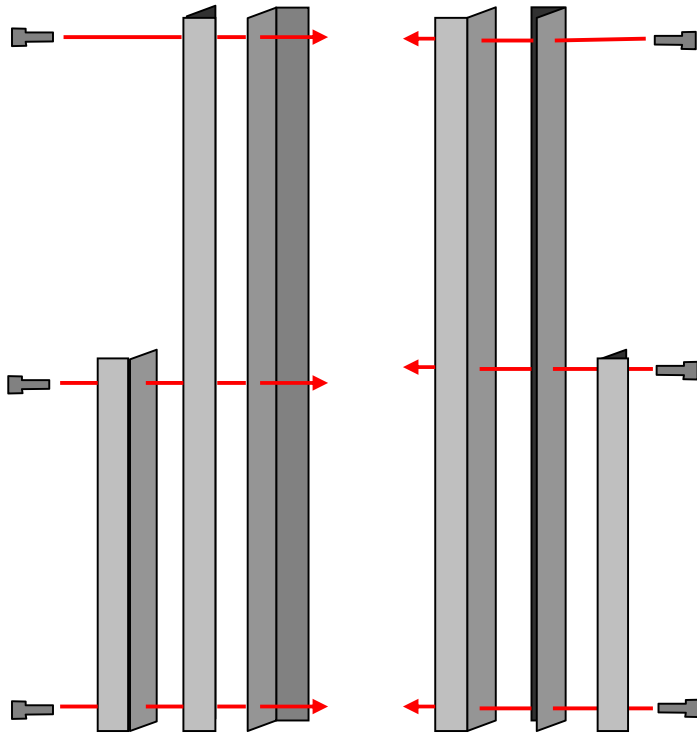
コンパクトビラの上部に取っ手用部材(2枚)を取り付けます。
また、ワイヤーを通すための穴をトビラ上部中央にあけます。

【ゲートの構造】



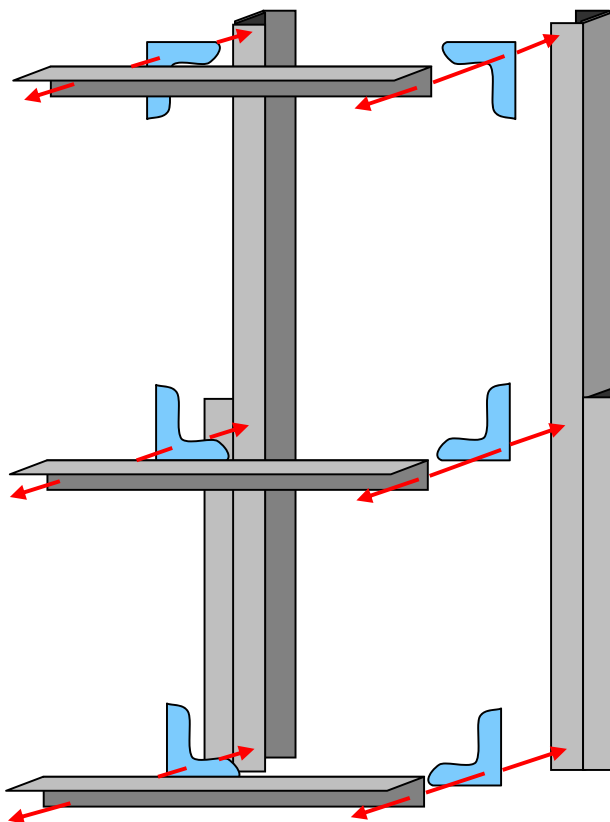
【ゲートの組み立て】

① 支柱



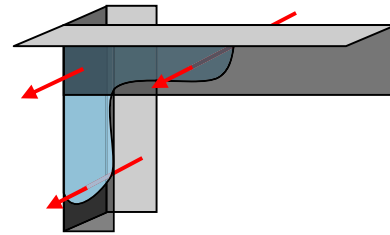
Lアングル (1800mm) 2本とLアングル (900mm) を左図のとおり組み合わせ、上中下3カ所をボルト止めします。

② ゲート

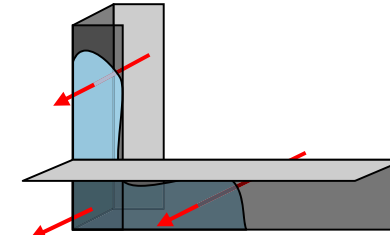


①で作成した支柱の上中下3カ所に三角プレートとLアングル (900mm) を左図のとおり組み合わせボルト止めします。

ゲート上段

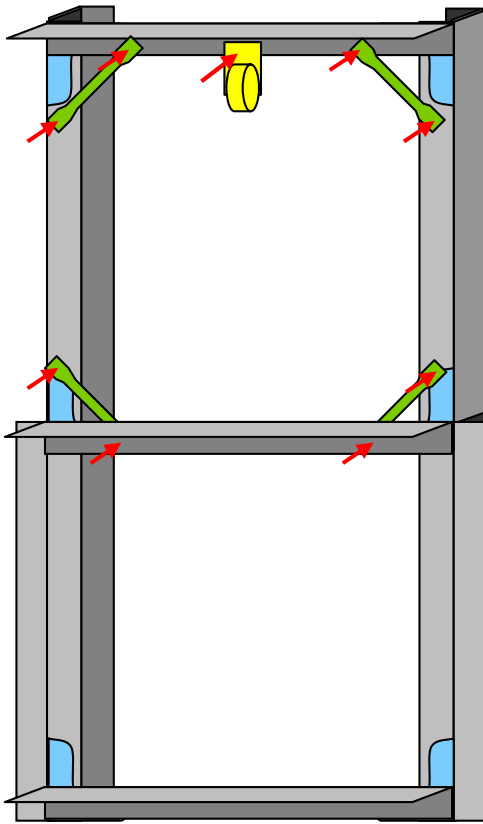


ゲート中・下段

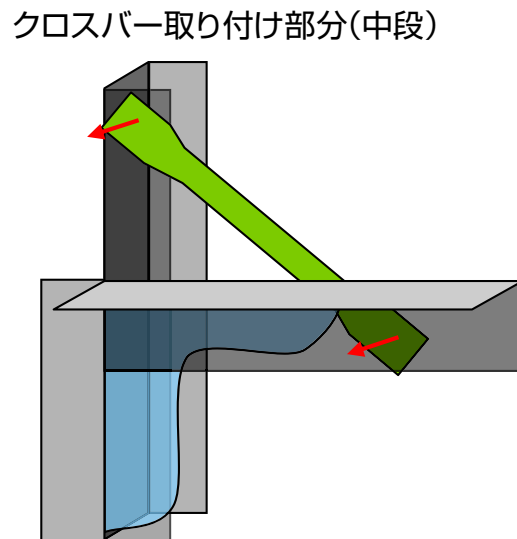
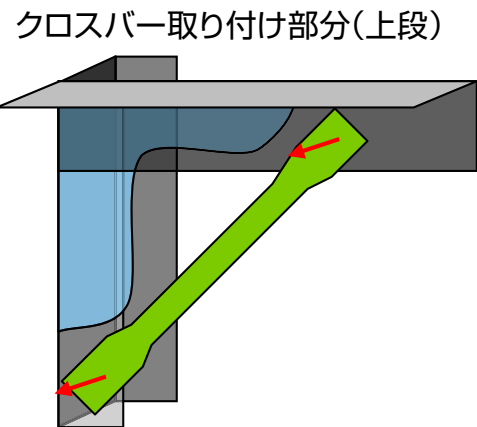
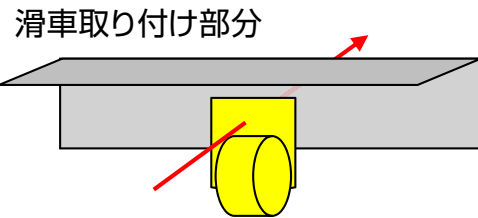


三角プレートは上図の3カ所の矢印位置でボルト止めします (矢印の方向にボルトを差し込みます)。

③ 滑車・クロスバー



②で作成したトビラ枠に左図のとおりクロスバーと滑車を**矢印位置**でボルト止めします。
(下図の**矢印**の方向にボルトを差し込みます)

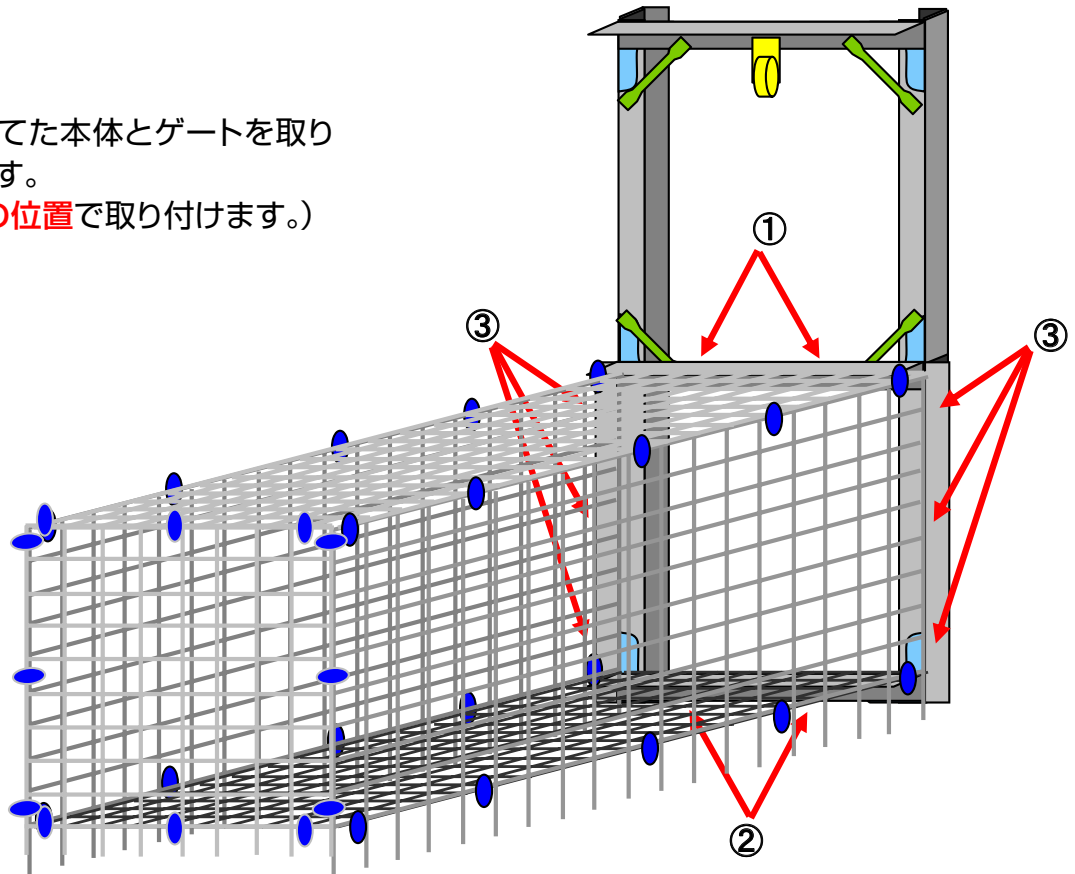


※ 補強用部材の三角プレートとクロスバーは小寺祐二氏考案の囲いワナのゲートを参考にしています。

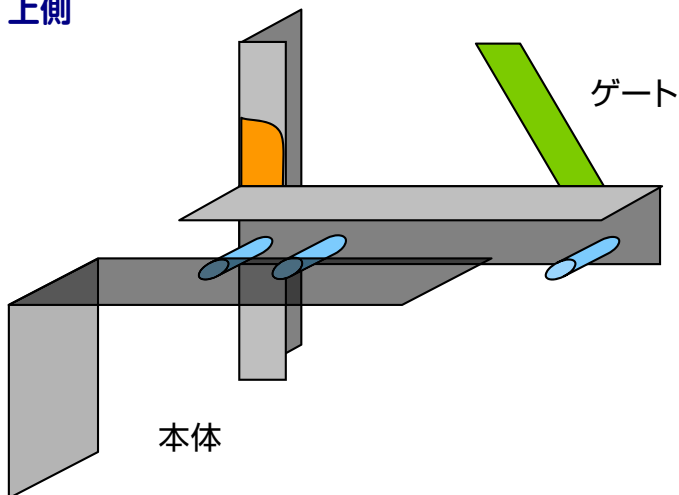
参考URL <http://sky.ap.teacup.com/kodera/>

4 本体とゲートの取り付け

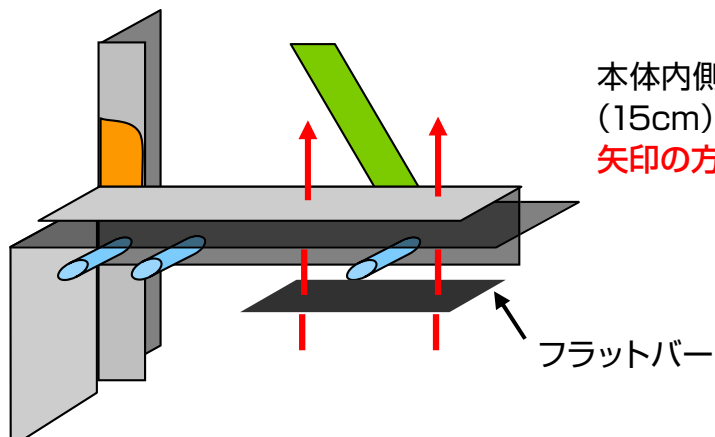
組み立てた本体とゲートを取り付けます。
(矢印の位置で取り付けます。)



① 上側

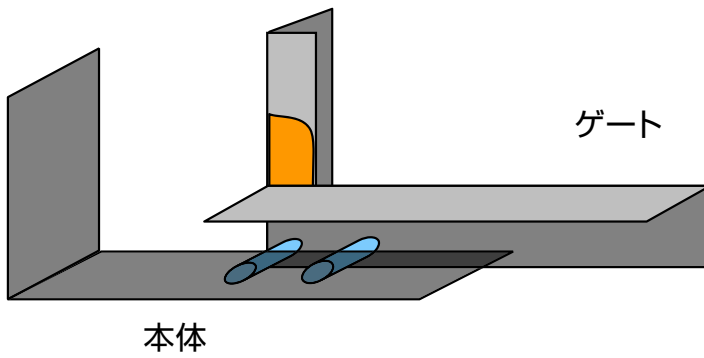


本体 (ワイヤーメッシュ) を
アングルとボルトの間に入
れます。

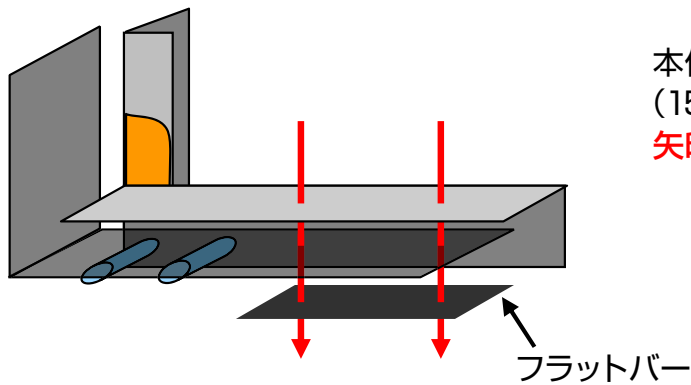


本体内側の 2カ所にフラットバー
(15cm) 入れ、本体を挟み込んで
矢印の方向にボルトで留めます。

② 下側



上側と同様に、本体（ワイヤーマッシュ）をアングルとボルトの間に入れます。



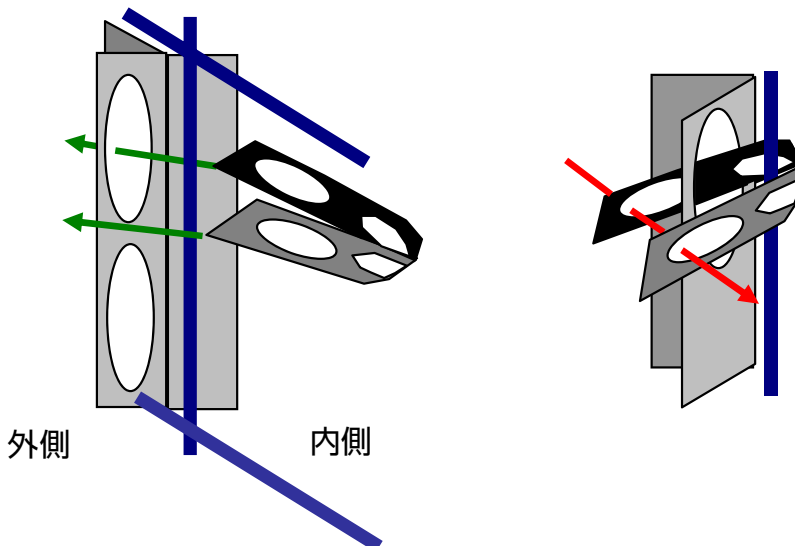
本体下側の2カ所にフラットバー（15cm）入れ、本体を挟み込んで矢印の方向にボルトで留めます。

③ 側面

フラットバー（15cm）を6枚用意して、すべて半分に折り曲げます。



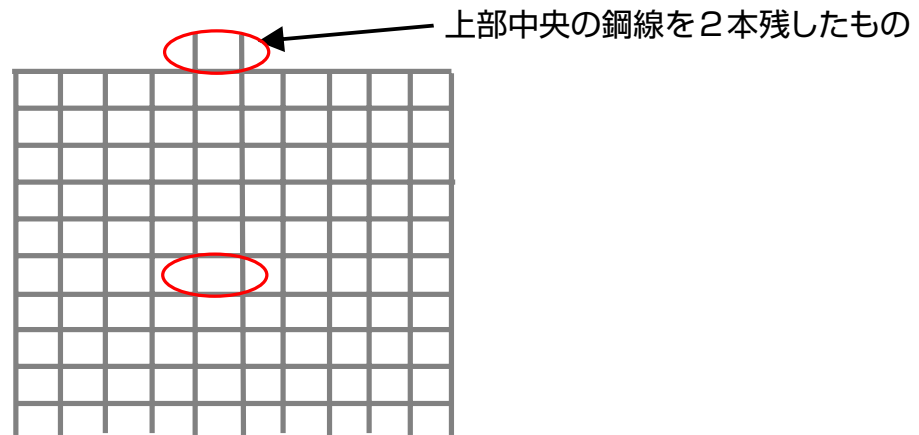
折り曲げたフラットバーを本体内側からワイヤーマッシュの鋼線を挟むように入れます。さらに、折り曲げたフラットバーの一方をゲート支柱の穴に差し込み、ボルト留めします（下図参照）。



左右両側面とも上中下段3カ所で留めます。

【仕掛けの作り方】

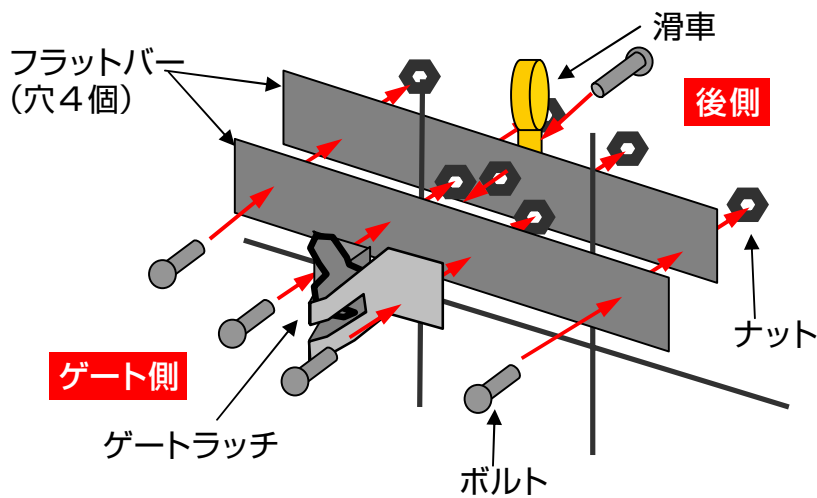
1) 後面ワイヤーメッシュの赤丸の位置に部品を取り付けます。



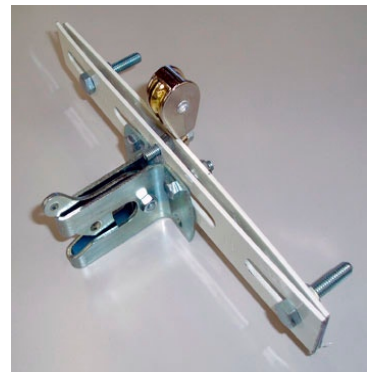
2) 後面ワイヤーメッシュに下図のとおり部品をつけます。

矢印の方向にボルト止めします。

〔上側〕



組み立て完成
(ワイヤーメッシュなし)



ゲートラッチ



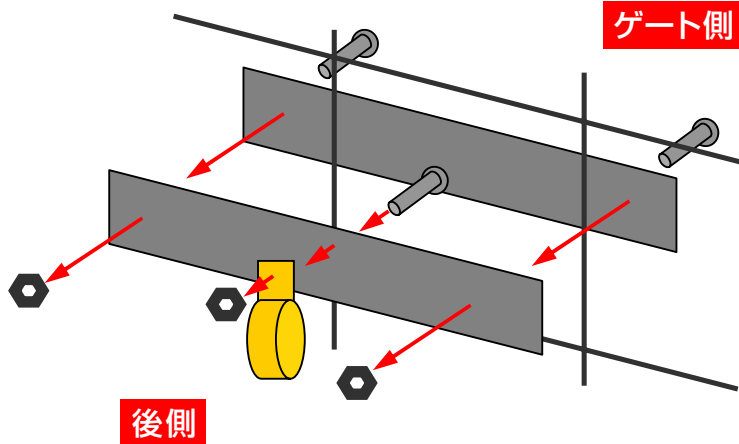
ゲートラッチ(既製品)
※製品によっては、穴を開ける。
(釣糸を結ぶため)

(ワイヤーメッシュ取付)



〔下側〕

取付位置は下から30～40cm。



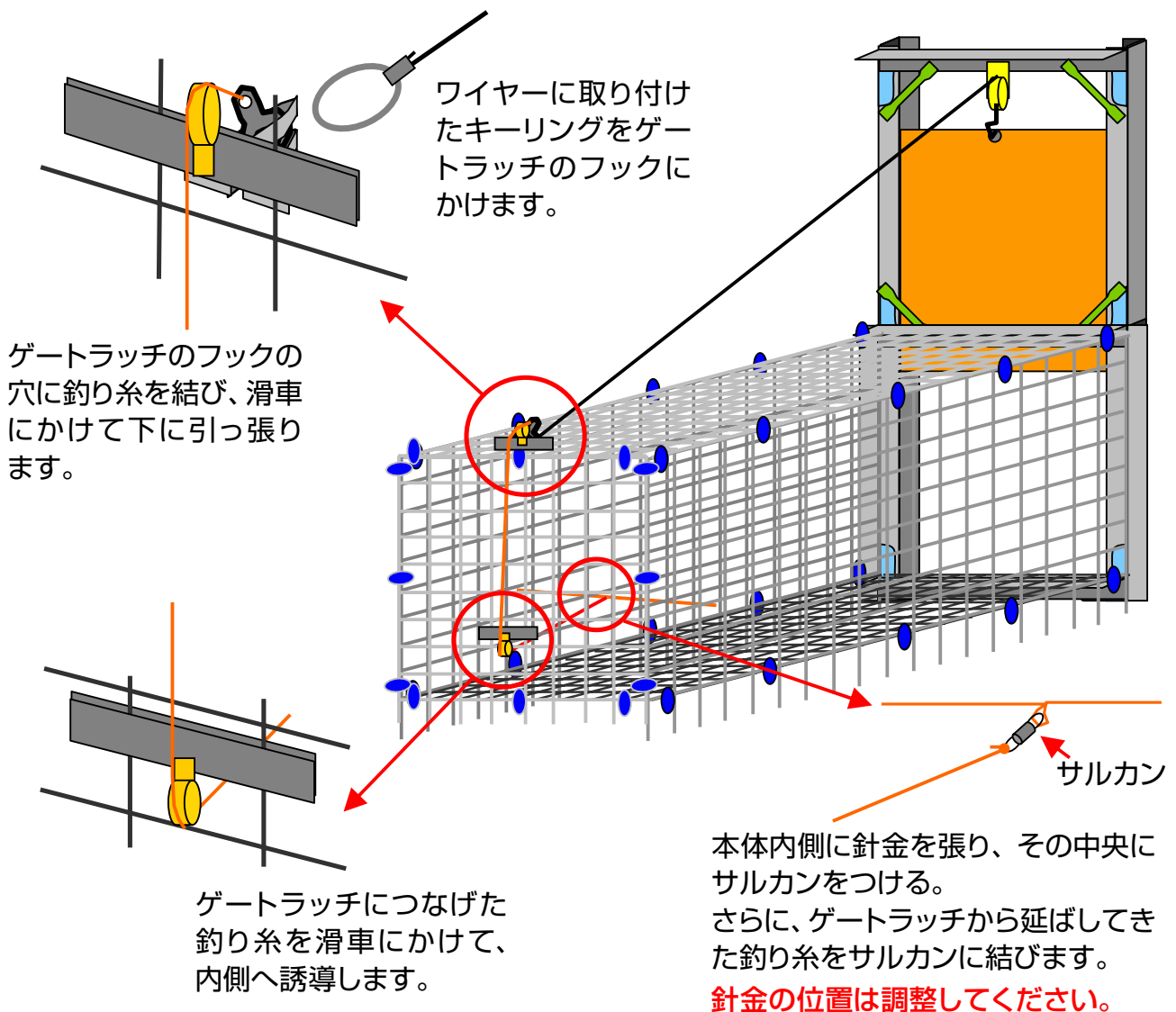
組み立て完成
(ワイヤーメッシュなし)



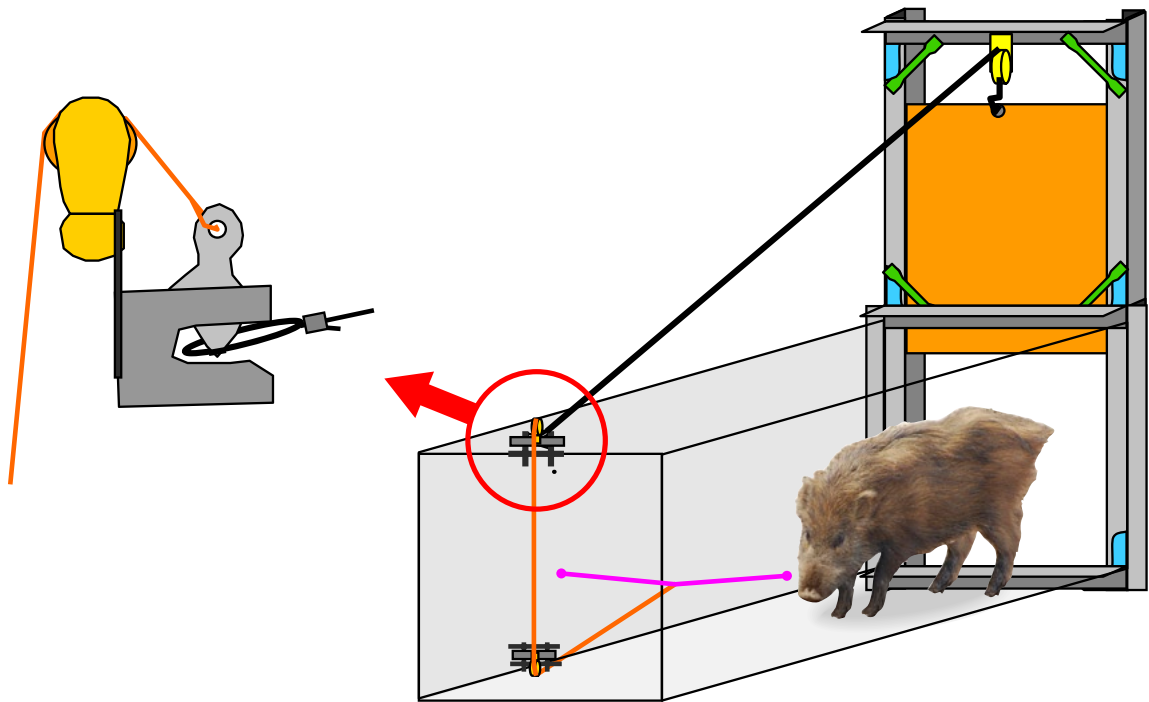
(ワイヤーメッシュ取付)



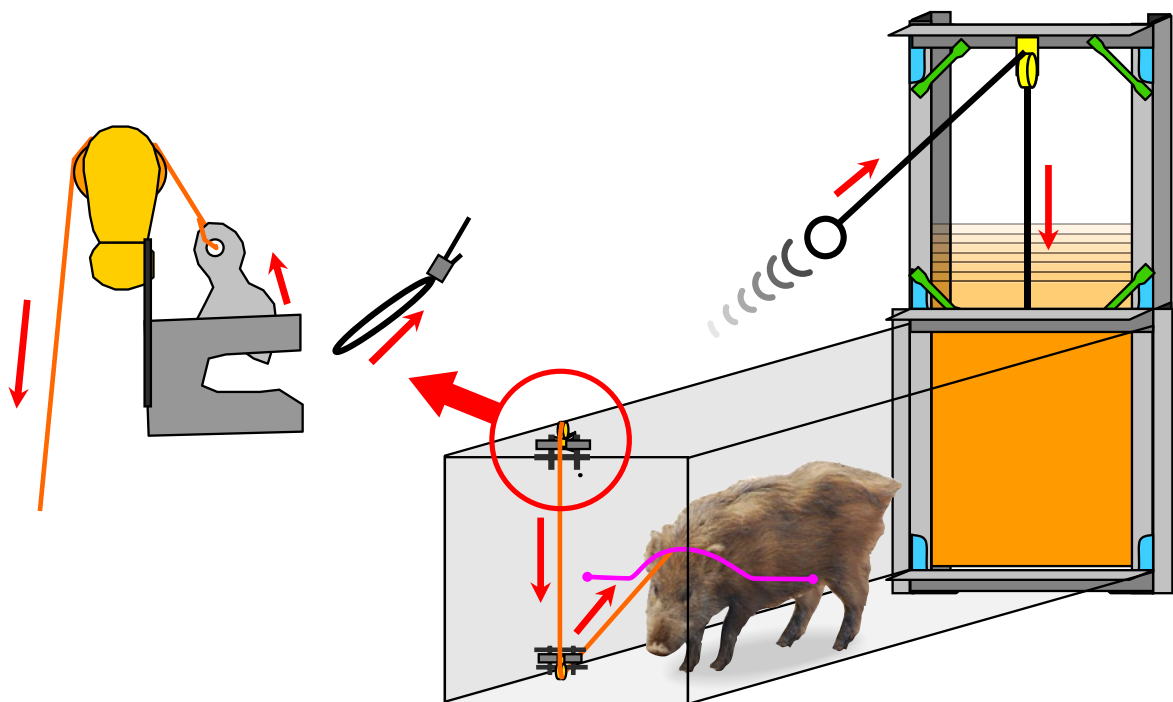
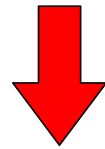
3) 組み立てをします。



5 わなの仕組み



イノシシが箱わなの中に入ってきて針金に触れると、釣り糸が引っ張られてゲートラッチのフックが持ち上がり、トビラを引っ張っていたワイヤーのロック（キーリング）がはずれてトビラが閉まります。



6 参考価格

名 称	規 格	個 数	単 価	価 格
ワイヤーメッシュ	φ60mm 目合い 10×10cm	5 枚	1,165	5,825
ワイヤークリップ	8 号	32 個	40	1,280
L アングル	1800mm	4 本	798	3,192
L アングル	900mm	5 本	441	2,205
クロスバー		4 本	336	1,344
三角プレート		6 枚	47	282
滑車		1 個	262	262
ボルト・ナット	φ6mm、30mm	37 個	8	296
コンパネ	1800×90×12mm	1 枚	1,575	1,575
フラットバー	600mm	3 枚	210	630
ゲートラッチ		1 個	580	580
フラットバー	600mm	1 枚	210	210
滑車		2 個	262	524
ボルト・ナット	φ6mm、30mm	6 個	8	48
キーリング		1 個	53	53
釣り糸	5 号 10m	1 巻	168	168
サルカン		1 個	13	13
異型鉄筋	φ10mm、400mm	1 本	215	215
合 計				18,702

価格は、島根県中山間地域研究センターのある飯南町周辺の小売店での販売価格ですので、地域によっては価格差が生じる可能性があります。

低コスト簡易型箱わな設計書のご使用にあたって

- この設計書は、イノシシを捕獲するための箱わなを低コストかつ簡単に作成するための参考例として示したものです。
- ご使用にあたっては、強度や安全面に注意をするとともに、関係する法令に従ってください。
- マニュアルの作成に当たっては注意を払っておりますが、マニュアルの誤り並びにマニュアルによって作成された箱わなの使用によって生じた直接、間接の損害については、開発者並びに島根県中山間地域研究センターはその責任を負わないものとします。
- また、本設計書の無断での複製、転載および引用は禁止します。

低コスト簡易型箱わなの開発

- このマニュアルにある箱わなは、小寺祐二氏（現長崎県勤務）と島根県中山間地域研究センターとの共同研究により開発したものです。